

2020

2/6

移動式完全自己処理型トイレを視察 (ニシム電子工業佐賀工場)

太陽光パネル利用で蓄電するので電源不要、汚泥を微生物で分解し洗浄水を循環させるので、上下水道整備不要の水洗洋式トイレです。



場合は、市が備蓄している携帯トイレ・簡易トイレ・マンホールトイレを活用するほか、民間事業者の災害協定に基づき、必要に応じて速やかに仮設トイレを設置することとしております。

Q 〈平畑〉マンホールトイレの整備は、小学校や公民館の新設の時だけでなく、既存の施設においても必要なところには整備を進めるべきと考えます。例えば、大雨時の避難先は、浸水や土砂災害のハザードマップと照らし合わせ、安全が確保される避難所を開設すると思います。

それらを踏まえると、避難所の機能のひとつとなるマンホールトイレの整備についても、ある程度優先度を付け、進めていくべきと考えますがいかがでしょうか。

A 〈市民局〉マンホールトイレにつきましては、避難所である小中学校や公民館などで新設や大規模改修時に整備することとしており、関係各局とも連携し、優先度等、整備のあり方を検討するなど、設置に取り組んでまいります。

Q 〈平畑〉福岡市で大災害がおきた場合は、福岡市の基本戦略は仮設トイレいわゆる汲み取り式トイレで対応することになっております。小学校の体育館を避難所と仮定した場合、仮設トイレは早ければ発注当日または翌日までには設置完了すると思っています。

トイレの問題は衛生面であり、現代の人は水洗トイレに慣れていて、便器が汚れたり臭いがきついたりすると、半日も経つと使用できなくなる人が続

出すると思います。

今年の初め、自民党市議団で移動式完全自己処理型トイレ、つまり電源が不要・上下水道設備不要・汲み取り不要できれいで快適な水洗洋式トイレを視察してきました。太陽光パネルを使用して蓄電池があるので電源設備がいない、洗浄水は循環させて排泄物を細かく粉碎し微生物で汚泥を分解、フィルターで洗浄水の不純物を取り無臭処理されているということであります。

3年前の九州北部豪雨時、杷木町のボランティアセンターではもう既に利用されております。2年前の倉敷の真備病院、そこにも設置されておりました。大変な好評をいただいたというふうにお聞きをいたしております。金額はいくらかというと、男性用・女性用それぞれ区切られているのが大体1,800万円位だそうです。

我々の近くにある公園の男女共用のトイレが、およそ1,200万円位でできるそうです。男女別タイプでは約2,000万円位ということで、あまり変わらないような金額だと思います。勿論移動式のトイレですから、一番いいのは山の中だったり、大きな公園の端の方に置いておくというのはもう工事が要りませんので、安くつくのではないかと思います。

男女に分けるのも当たり前ですが、コロナの感染者用ということも必要になってくると思います。また大きな地震があった場合は、天神などは帰宅困難者で一杯になる可能性もあります。普段より市役所の西側広場、警固公園・天神中央公園に置いておいて、いざとい

2020

2/15

鬼木代議士・ 堤田市議・ 合同国政市政 報告会

福岡2区選出・鬼木まこと衆議院議員と中央区選出・堤田寛福岡市議会議員と合同で、報告会をふくふくプラザにて開催しました。

